

会議・打合せ記録

会議録	平成23年度 第3回豊田市公共交通会議
次第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 議 事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) 地域公共交通確保維持改善事業に関する評価について</p> <p> ◆ 稲武地域バス ◆ 藤岡地域バス</p> <p>(2) 工事に伴う基幹バス路線の改編について</p> <p> ◆ 稲武・足助線 ◆ 旭・足助線</p> <p>(3) 地域バス路線の路線延伸、バス停の設置等について</p> <p> ◆ 藤岡地域バス ◆ 旭地域バス</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) 上郷地区における社会実験について</p> <p>(2) 臨時便の運行について</p> <p>3. その他</p> <p>4. 閉 会</p>
日 時	平成24年2月17日(金) 13:30~15:00
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室

出席者 (敬称略)	<p>【委員】 野田 宏治（豊田工業高等専門学校） 荻野 弘（豊田工業高等専門学校） 長嶋 鋭治（社会福祉法人豊田社会福祉協議会） 佐藤 勇恵（豊田市区長会） 松井 信（豊田市老人クラブ連合会） 澤田恵美子（豊田市消費者グループ連絡会） 松井 善郎（豊田市PTA連絡協議会） 小田 康夫（豊田商工会議所） 加藤 直樹（名鉄バス株式会社） 境 政義（豊栄交通株式会社） 湯谷 孝夫（愛知県タクシー協会） 長崎三千男（愛知県バス協会）（代理：伊藤） 梶原雅一郎（愛知環状鉄道株式会社） 西尾 和晴（国土交通省中部運輸局愛知運輸支局） 伊勢村政明（愛知県警察 豊田警察署）（代理：山内） 大西 優（愛知県警察 足助警察署） 戸田 智雄（愛知県地域振興部交通対策課）（代理：竹澤） 大原 義朗（愛知県豊田加茂建設事務所） 加藤 泰（豊田市都市整備部）</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>
資料	<p>1. 次第・配席図 2. 資料1～6：豊田市公共交通会議 平成23年度第3回会議資料</p>

(要約)

2. 議事

【協議案件】

(1) 地域公共交通確保維持改善事業に関する評価について

- 事務局 資料に基づき説明
- 委員 稲武地域は、起伏が激しく、バス停までの移動が困難であるため、引き続きデマンドバスの運行をお願いしたい。また、利用率が少ないという話があったが、高齢化が驚くほど進んでいるのが現状である。自家用車から公共交通への転換を図っているが、バス停までの距離が遠いため、どうしても自家用車に頼ってしまうのが現状である。高齢にもかかわらず、自家用車を運転している人が結構いるため、地域の実情を把握して、公共交通への転換を図る運動を実施していかなければならないと考えている。まだまだ、おいでんバス、地域バスについて知らない人が多く、実際に使ってみないと公共交通への転換は図れないため、いろんなところで話をしていきたいと考えている。現在、利用者が少ないからといって、廃止したりするようなことはしないで欲しい。
- 事務局 基幹バス、地域バスのPRについて、稲武地区の支所便りなどを使ってPRしているがまだまだ、知らない方もいるということで、老人クラブの皆さんと共働して広報等のお願いをしていきたいと思っています。一緒になって公共交通への転換を推進していきたいと考えております。

- 委員 できれば、実車を使った体験試乗等を老人クラブ向けに実施していただけると有効かと思しますので、前向きに検討をお願いします。
- 事務局 イベントやPR活動については、行政と地元協議会等と協働して、取り組んでいきたいと考えております。

(2) 工事に伴う基幹バス路線の改編について

- 事務局 資料に基づき説明
- 委員 バス停が移設されることで、利用者への配慮はありますか。
- 事務局 移設先のバス停から病院までは、足助病院が午前中だけになりますが、シャトルバスの運行を予定しています。
- 委員 バス停の移設先及び延伸することについて、公安協議は整っていますか。
- 事務局 新設のバス停は、民地への設置ということで公安協議は実施していません。
- 委員 路線延長が伴うため、運行における安全性の確認をお願いします。
- 委員 新設バス停から病院間は、シャトルバスの運行が予定されているとのことだが、新設バス停を設置する駐車場から病院への案内はどのように実施していく予定でしょうか。
- 事務局 病院側で設置する予定です。
- 委員 駐車場内に住宅があり、一部歩道が整備されていない部分があるため、バスで来た人が、歩道の無い部分を歩くと危険であるため、その辺の経路案内をお願いしたい。
- 事務局 基本的には、バスを利用して病院へ来院した人は、シャトルバスにて送迎を予定しているが、歩いていく人もいますので、ご指摘いただいた事項について、足助病院と協議をして決めていきたいと思っております。必要であればバス停に案内図などを設置して対応していきたいと考えています。

(3) 地域バス路線の改編について

- 事務局 資料に基づき説明（藤岡支所、旭支所）

・旭地域バス

- 委員 旭地域バスについて、毎年の新入生の状況によって路線改編を考えているということかと思っております。しかし、新入生がいるということは、それなりの集落があると推測されるため、新入生だけを対象に路線改編を実施していくことが適切かどうか、判断が難しいところである。よって、新入生の有無だけで路線の改編を実施するのではなく、地域全体のことを考え、改編策を検討していただきたいと思っております。具体的に、生徒がいなくなってしまうと路線を廃止してしまうような状況になってしまうのでしょうか。
- 事務局 現時点では、生徒が不在となった地域については十分に周知し、縮小する方向で実施していく予定です。
- 委員 生徒の有無だけで判断するのではなく、地域でコンセンサスをとって改編策を検討していただければという理解でいいですね。
- 事務局 はい。

・藤岡地域バス

- 委員 最終便を削減するという話だが、終点から営業所の車庫まで回送するというのであれば、廃止しなくても回送車を有効活用したら、経費を増やさずしてサービスを維持することができるのではないか。
- 事務局 削除する便は、月に1人乗車するかしないかという状況で、ほとんど利用がない便であります。
- 委員 それは、十分に理解できますが、バスが運行していることで存在価値を示せる部分もあると思います、過剰サービスは必要ないですが、回送バスを効率的に活用することで経費を最小限に抑えながら、住民サービスを維持することができるのではないかと思いますか、いかがでしょうか。
- 事務局 全く乗らない便を運行することで経費がかかってしまいます。平成22年度に実施された評価で藤岡地域バスは、収益率8.8%という状況にあり、現状維持または、利用者の少ない便については削減し、経費の削減に努めるように指摘をいただいているところであります。よって、地域バス協議会での協議を経て、改編案を検討させていただいており、藤岡地区としては地域の合意形成ができており、便数を切るという認識はありません。

【報告案件】

(1) 上郷地区における社会実験について

- 事務局 資料に基づき説明（上郷支所）
- 委員 実施年度を伸ばすことについて、せっかく盛り上がってきた地域の意識を下げてしまうのではないのでしょうか。また、末野原線・上郷線については2路線一緒に運行開始しなければならないのでしょうか。
- 事務局 上郷線の利用率を向上させ、できれば同時に運行開始したいと考えています。
- 委員 上郷地域における年齢構造が地区内で異なっていることが考えられます。ですから、GISなどを活用して細かく分析し、高齢化が進んでいるようなデータが集められれば、利用実績が高く、高齢化も進んでいる末野原線を先行して実施するという事は考えられないだろうか。そうすることで、地元へのPRにもなるし、上郷線の沿線住民への意識の活性化を図れるのではないかと思います。
- 委員 1年運行が延びてしまうことで、末野原地区の住民からは、強い抵抗があります。引き続き、検討委員会を開催し、本当に必要な路線はどういう路線か地域の中で検討していきたいと思います。

(2) 臨時便の運行について

- 事務局 資料に基づき説明（稲武支所）
- 委員 利用者の評判は、いかがでしたか。
- 事務局 バス停まで歩けない人たちからは、好評であります。また、ミステリーツアーの内容については、主催者が、行き先を隠して、臨時便の運行案内のみ広報しました。当日は、臨時便の目的地を乗客に知らせないまま、バスの運行を行いました。その結果、バスに乗車している人たちからは、バスの意外な利便性を発見することができたなどの意見をいただき、企画としては好評でした。

3. その他

(1) 愛知県からのイベント等のお知らせについて

(2) 広報とよた（1月1日号）における特集について

(3) 次回会議の開催予定について

- 事務局 次回会議は、平成24年6月ごろに開催を予定しております。
よろしく申し上げます。